

# 総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
4 - 1 - 1	消費者ニーズに対応した農林産物を創出する
重点施策ID	重点施策名
4 - 1 - 1 - 1	農林畜産物のブランド化及び産地化の推進

2. 事業名等	
事業名	優良雌牛確保対策事業補助金
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ( )
細事業名	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ( )
事業主体	市
事業種別	④ ①直営 ②指定管理 ③委託 ④その他 ( 事業費補助 )
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 22 年度
根拠法規	豊後大野市優良雌牛確保対策事業補助金交付要綱
各種の計画への反映 (=根拠計画)	豊後大野市農業振興計画
事業ID	

3. 事業の内容等									
事業の背景	<p>これまで、県外からの導入が多く地域内保留が少ないことから、優良雌牛群の増殖が一時的に低下し特色ある系統繁殖集団がなくなった。 今後は従来から存在する雌牛系統の重要性と再構築に向けた取組が急務である。</p>								
補助事業	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/</td> <td>1/</td> <td>1/</td> </tr> </table>	名称	国	県	その他	補助率	1/	1/	1/
名称	国	県	その他						
補助率	1/	1/	1/						
起債の種類	① ② ③								

事業の目的及び対象		事業概要	
【目的】	基礎牛の育種価向上	【対象牛】	導入又は自家保留された子牛及び育成牛が一定条件を備えた場合、育成費の一部を補助する。 [対象牛]子牛は生後12カ月齢未満、育成牛は生後12カ月齢以上30カ月齢未満で、子牛市場または成畜市場でそれぞれ正式に導入・評価されたもののうち、①枝肉重量及び脂肪交雑育種価がAランクのもの。または、母の登録点数が80点以上を得点したもの。②妊娠牛は、初産分産が生後28カ月以内を見込まれるもの。③対象家畜は、市肉用牛改良組合が推薦する種雄牛の産子。[補助率]一律50千円以内。(自家保留は、飼養頭数が維持・増頭)
【対象】	肉用牛繁殖経営者	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
		E 維持	

4. 予算・決算の状況		(単位：千円)						
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計	22,000	12,350	6,400	6,000	6,000	6,000	
決 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計	11,187	9,991	6,350	5,997			
計	11,187	9,991	6,350	5,997				

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 導入頭数 61頭 保留頭数 88頭 市内飼養頭数2,530頭	【実績】 導入頭数 27頭 保留頭数 100頭 市内飼養頭数2,477頭	【実績】 導入頭数 21頭 保留頭数 113頭 市内飼養頭数2,402頭	市場評価の高い系統繁殖集団の構築。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	導入、保留牛の育成費の補助額						
効率指標	-						
成果指標	繁殖雌牛更新率						
	単位 %						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別			更新率	更新率	更新率	更新率	
目標値			5	5	5	5	
実績値			5	5			
達成率			100.0%	100.0%			
備考							

# 総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	肉用牛の振興を図るには、更なる改良促進と種雄牛造成を行う必要があり、そのためには優良雌牛系統の確保が重要であるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	民間による補助が行われておらず、行政が実施主体となる必要がある。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	繁殖雌牛の導入に係る経費の一部を行政が補助しており、代替手段が少ない。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	優良雌牛系統の確保にきわめて高い効果があるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	本事業は肉用牛を振興するためには不可欠であり、現行規模を維持する必要があるため。				
人 体	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	肉用牛振興に寄与しており、現状維持が望ましいため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
市単独事業であるため、補助金の交付額及び交付条件等の見直しを検討する。					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	